

# 教員個人調書等の作成要領

別紙作成例も参照し、作成日現在で記入してください。

## 履歴書

- 1 「氏名」の欄について、旧姓等の通称名を使用している場合は（ ）書きで本名を記入してください。
- 2 「生年月日(年齢)」は、作成日現在の満年齢を記入してください。
- 3 「国籍」の欄には、当該教員が外国籍である場合にのみ国名を記入してください。
- 4 「月額基本給(千円)」の欄は、記入不要です。
5. 「学歴」の欄について
  - ① 大学若しくは高等専門学校またはこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む）を有する場合、すべてに学歴（授与された学位及び称号を含む）を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
  - ② 学位においては、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
  - ③ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
  - ④ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナ併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。
6. 「職歴」の欄について
  - ① すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む）を記入するとともに、職名、地位等についても記してください。
  - ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
  - ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。

- ④ 過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称（大学院にあっては、判定結果を含む）を記入してください。また、過去における高等専門学校の教員資格の認定を受けて場合には、当該認定に係る時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入してください。
- ⑤ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。

## 7 「学会及び社会における活動等」の欄について

- ① 「現在所属している学会」には、記入日現在において所属する学会の名称を正確に記入してください。
- ② 所属する大学内の委員委嘱を除き、国、県、市町村の審議会等の委員歴、及び社会における活動（各種協会を含む）歴について記入してください。
- ③ 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項があれば記入してください。
- ④ 体育、芸術等の審査員、審判員、指導員等を委嘱されている場合は、社会における活動として記入してください。ただし、「芸術上の優れた業績、実際的な技術、優れた知識及び経験、教育上の能力」等を業績として取扱う場合は、「教育研究業績書」に入れてください。

## 8 「賞罰」の欄について

公的機関、学会、出版社等からの表彰、他団体からの職務上の表彰、その他懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等があればこれも記入してください。

## 9 「現在の職務の状況」の欄について

### 「現在の職務の状況」

- ア 「現在の職務の状況」の欄には、記入日現在における職務の状況について記入してください。
- イ 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は「－」を記入してください。
- ウ 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

### ② 「開設後の職務の状況」の欄について

- ア 当該大学等に専任教員として就任以降に、当該大学以外の職に従事する場合に記入してください。

- イ 常勤、非常勤を問わず、定期的に従事する職についてはすべて記入してください。
  - ウ 他大学等の兼任教員の場合は、「勤務先」に大学名、「職名」に兼任、「学部等又は所属部局の名称」に学部学科名（全学共通の場合などは適宜わかるような表記）、「勤務状況」は週あたりの勤務日数を記入してください。
  - エ 大学以外の業務の場合は、従事する職に応じて実態がわかるように適宜記入してください。
  - オ 「名誉職」のような場合で、定期的な勤務のない場合は記入不要です。
  - カ オの場合を除き、勤務実態のある業務については記入漏れがないように注意してください。
  - キ 記入した業務のうち、常勤の職については、「教員就任同意書」を必ず添付してください。フォームが必要な場合にはご連絡ください。
10. 当該教員が外国人である場合、母国語により記入して差し支えありません。この場合、訳文を添付してください。

# 教育研究業績書

## 1. 「氏名」の欄について

旧姓等の通称名を使用している場合は（ ）書きで本名を記入してください。

## 2. 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。

専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者（大学設置基準第14条第3号及び第6号、第15条第5号、第16条第2号、第16条の2第3号に該当する者）としての審査を希望する場合には、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。

## 3. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- ① 「事項」の欄には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ② 「年月日」の欄には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
- ③ 「概要」の欄には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
- ④ 「教育上の能力に関する事項」の例

### ア 「1. 教育方法の実践例」について

- ・授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等
- ・各種教育機関における教育経験

### イ 「2. 作成した教科書、教材」の例

- ・授業や研修指導等で使用する著書、教材等

### ウ 「3. 教育上の能力に関する大学等の評価」

- ・採用決定の際等における評価内容
- ・各大学における自己点検・評価での評価結果
- ・学生による授業評価、教員による相互評価等の結果

### エ 「4. 実務の経験を有する者についての特記事項」

- ・大学から受け入れた実習生等に対する指導
- ・職能団体の依頼による研修指導等
- ・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
- ・大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

オ 「5. その他」

- ・ 大学教育に関する団体等における活動
- ・ 国家試験問題の作成等
- ・ 認証評価機関の評価員活動等

⑤ 「職務上の実績に関する事項」の例

ア 「1. 資格、免許」

- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床心理士、教員免許(幼小中高)等の免許・資格の記入と登録番号、授与機関を併記してください。
- ・ 外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。

イ 「2 特許等」

- ・ 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関するもの

ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例

- ・ 大学との共同研究
- ・ 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
- ・ 各種審議会・行政委員会、各種ADR等の委員
- ・ 行政機関における調査官等
- ・ 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
- ・ 調査研究、留学、海外事情調査等
- ・ 上記を裏付ける報告書、手引き書、マニュアル、雑誌等

エ 「4 外部資金獲得状況」

- ・ 科学研究補助金、受託研究、共同研究、研究助成および奨学寄附金等の外部資金獲得状況について項目別に記入して下さい。(研究題目、研究種類、助成金の名称、代表・分担等の別、期間、研究費の総額)

オ 「5 その他」

- ・ 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- ・ 論文の引用実績等

⑥資格の証明書、雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

4. 「研究業績に関する事項」の欄について

①「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。

②「著書、学術論文等の名称」の項について

ア 研究等に関連する主要な業績を「(著書)」「(学術論文)」「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。

イ 著書については、書名を記入してください。

- ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、「修士論文」「博士論文」の項目に記入して下さい。卒業論文（学士）は記載しないでください。
- エ その他については、総説・学会抄録・依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表・座談会・討論等にあつては当該テーマを記入してください。
- オ 美術関係等の業績として作品集を提出する場合は、別途1部提出してください。なお、作品集については、審査終了後に返却が可能ですので、提出時にその旨を申し出てください。
- カ 査読付きの論文については、題名の後に「**（査読付）**」と記載してください。
- ③「**単著・共著**」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修・編集・編著・共著・部分執筆等の関わり方によらず「共著」としてください。
- ④「**発行又は発表の年月**」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- ⑤「**発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称**」の項について
- ア 著書については、発行所を記入してください。
- イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称・巻・号・掲載ページ等を明記してください。
- ウ 報告発表等の場合には、学会大会名・開催場所等を明記してください。
- ⑥「**概要**」の項について
- ア 当該著書等の概要を 200 字程度で記入してください。
- イ 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名（下線を付すこと。）を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときには、その理由を記入してください。

以 上

【担当課：新学部設置準備室】

別記様式第4号(その1)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教 員 個 人 調 書

※空欄にしてください。		履 歴 書	
フリガナ	フクシマ タロウ	性別	男
氏 名	福島 太郎	生年月日(年齢)	昭和 年 月 日 (満 歳)
国 籍		※外国籍である場合のみ記	
月額基本給	千円	現住所	〒960-0116 福島県福島市定宿町池の邊の○
和暦を記入	学	大学以降を記入	※学位の表記 授与された時期(下記)によって表記が異なる場合がありますので、正確に記入してください。 【平成3年6月末までの授与】○○学修士/○○学博士 【平成3年7月以降の授与】修士(○○学)/博士(○○学)
年 月	事		
昭和45年 4月	○○大学○○学部○○学科 入学		
昭和49年 3月	○○大学○○学部○○学科 卒業(○○学士)		
昭和52年 3月	○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程 修了(○○学修士)		
平成18年 3月	○○大学大学院○○研究科○○専攻博士後期課程 修了(博士(○○学) 博士課程単位取得後退学 博士論文題目「□□□□□□□□□□□□」	※所定の単位を取得し、博士の学位を授与されないまま退学した場合は、「博士課程単位取得後退学」	※学位論文の題目を併記してください。
職		項	
年 月	事	項	
昭和55年 4月	○○大学○○学部○○学科 助手(昭和62年3月まで)		
昭和62年 4月	△△大学△△学部△△学科 講師「○○○論」「□□学」(平成4年3月まで)	※大学、大学院、専門学校等の教員としての職歴は、授業担当科目を併記してください。	
平成 2年 4月	□□□□大学 非常勤講師「○○学」(平成○○年○月まで)		
	⋮		
	⋮		
平成10年 8月	大学設置・学校法人審議会 教員組織審査 審査年月:平成10年8月 大学名:◇◇大学◇◇学部◇◇◇◇学科 職名:教授 担当科目:「○○○論」「□□学」「△△△△」「◇◇◇◇」	過去に設置認可に係る教員組織審査を受けている場合は記入してください。 審査年月、大学・学部・学科名、職位、担当科目 (大学院の場合は論文指導○合の判定結果含む)	
平成10年 ○月	大学設置・学校法人審議会 教員組織審査 審査年月:平成10年○月 大学名:◇◇大学大学院◇◇◇◇研究科◇◇◇◇専攻 職名:教授 担当科目:「○○○○特論」「◇◇◇◇課題研究I」 ○合		
平成10年 ○月	課程認定委員会 教員審査 審査年月:平成10年○月 大学名:◇◇大学◇◇学部◇◇◇◇学科 職名:教授 担当科目:「○○○論」「□□学」	過去に教職課程認定に係る教員審査を受けている場合は記入してください。 審査年月、大学・学部・学科名、職位、担当科目	
平成12年 4月	◇◇大学◇◇学部◇◇学科 教授「○○○論」「□□学」(現在に至る)		
平成18年 4月	○○○学科学生主任(平成23年3月まで)		
平成26年 4月	○○○学科長(現在に至る)		

学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等			
現在所属している学会		〇〇〇学会、日本〇〇学会・・・・・・・・	
年 月	事	項	
昭和56年 4月	〇〇〇学会会員（現在に至る）	<b>※専攻や研究分野等に関連する事項</b>	
昭和60年10月	日本〇〇学会会員（現在に至る）		
平成〇年〇月	〇〇養成講習会 講師 〇〇論担当（平成〇年〇月△日）		
平成〇年〇月	〇〇相談員（平成〇年□月まで）		
平成〇年 4月	公益財団法人日本高等教育評価機構評価員（平成△年3月まで）		
賞		罰	
年 月	事	項	
平成 2年 3月	日本〇〇学会 ◇◇◇賞 受賞	<b>※学会や出版社等からの表彰、職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。</b>	
平成〇年 4月	平成〇年度 <b>特別表彰</b> 「〇〇〇〇賞」 <b>受賞</b> ・・・・・・・・		
現 在 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
〇〇大学	教授	□□学部△△学科	「〇〇〇論」 「□□学」
開 設 後 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
令和 年 月 日			上記のとおり相違ありません。
			氏名 <b>福島 太郎</b> (印)

**作成日現在**で記入してください。

**本人自署**



別記様式第4号(その2)

作成日現在で記入してください。

用紙 日本工業規格A4縦型)

教育研究業績書

令和 年 月 日

本人自署

氏名 福島 太郎



※科研費の「別表3 系・分野・分科・細目表 付表キーワード一覧」の分科レベルの欄から、研究分野の主なもの(担当授業に関係するもの)を3つ以内で選んで記載してください。

研究分野	研究内容のキーワード	
○○、△△△△、□□□	○○学、□学、△△△△学、◇◇◇学、×××××学	
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 (例)授業外における学習を促進する取組み 授業内容のインターネット上での公開 ……など	平成○○年○月～ 平成○○年○月	和暦で記入
※科研費の「別表3 系・分野・分科・細目表 付表キーワード一覧」を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記載してください。		
2 作成した教科書, 教材 (例)授業や研修指導等で使用する著書, 教材 ……など	平成○○年○月○日	※『著書、学術論文』との重複も可。その場合「再掲」と記載してください。 ○○大学○○学部○○学科○○課程向けの教科書として作成され、「×××論」の授業で使用。以後、現在に至るまで版を重ねている。
3 教育上の能力に関する大学等の評価 (例)採用決定の際等における評価内容 各大学における自己点検・評価での評価結果 ……など		
4 実務の経験を有する者についての特記事項 (例)大学から受け入れた実習生に対する指導歴(看護・福祉実習等) 大学の公開講座や社会教育講座における講師講演等の概要……など	平成○○年○月○日 平成○○年○月○日	○○○施設にて○○大学の实習生△名を受け入れ指導。 ○○○公開講座の講師として○○○○について講義。
5 その他 (例)大学教育に関する団体等における活動 教育実績に対する表彰……など	平成○○年○月○日	※担当授業科目に関する「職務上の実績に関する事項」を過去から年月日順に記載してください。
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格, 免許		※医師、歯科医師、薬剤師、獣医師、看護師、教員等の資格で担当予定授業科目に関連するものを記載してください。
医師免許 社会福祉士 中学校教諭一級普通免許(社会)	昭和49年○月○日 昭和○○年○月○日 昭和○○年○月○日	※登録番号、授与機関を記載してください。 医籍登録 第○○○○○○○号(厚生省) 登録番号 第○○○○○○号(財団法人社会福祉振興・試験センター) ○○県教育委員会 昭○○中一普第○○○○○号
2 特許等		※教育内容に関する事項について記載してください。特許権取得や新案登録したものの以外のもので、それに準ずるものがあれば記載してください。
○○○○装置 ○○○○○○に関するシステム及び認証方法	昭和○○年○月○日 平成○○年○月○日	特許第○○○○○○号 ○○○○と共同出願 特許第○○○○○○号

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項 大学との共同研究 〇〇審議会委員	昭和〇年〇月〇日～ 昭和△年△月△日 昭和〇年〇月〇日～ 昭和△年△月△日	<p>※「職歴」欄に記載した事項を中心に、担当する授業科目に対応した内容を記載してください。</p> <p>①従事した期間 ②職務の内容(どのような職務について、どのような役割を果たしたか) ③成果、結果</p>
4 その他 <b>(例)職能団体からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等、論文の引用実績……………など</b>		※1～3に該当するもの以外の事項について幅広く記載してください。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1. 「〇〇〇〇〇」	単著	昭和〇年〇月	〇〇〇出版	(A5判 全250頁) ..... .....
				和暦で記入
				※「概要」には、当該著書等の概要を200字程度で記載してください。
2. 「〇〇〇〇〇」	共著	昭和〇年〇月	×××書店	(本人執筆 「〇〇〇 I」(pp. 10-25)、「〇〇〇 II」(pp. 30-48) 及び「〇〇〇〇」(pp. 49-76)) ..... .....
		時系列で		※共著(分担執筆)で分担部分を1人で執筆した場合の記入例
3. 「〇〇〇〇〇」	共著	平成〇年〇月	△△書店	(本人執筆 「×××」(pp. 10-25)) ..... ..... 編者：〇〇〇〇 共著者：△△△△、〇〇〇〇、福島太郎、×××、他3名
(学術論文) 1. 「〇〇〇〇〇」 (査読付)	共著	昭和〇年〇月	「〇〇〇〇〇〇」 第39巻 第5号 pp. 10-49 (〇〇〇〇学会)	(本人執筆 〇章「××××」(pp. 10-25)) ..... ..... 共著者：福島太郎、〇〇〇〇、△△△△、×××、他2名
		時系列で		<p>※共著の場合</p> <p>①本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記載。本人の担当部分が不明確(本人部分抽出不可)の場合は、これらのかわりに抽出不可の理由を記載。</p> <p>②本人の氏名(下線を付すこと。)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名、他〇名)を当該論文等に記載された順に記載</p>

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(学術論文) 2. 「○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○」 (博士論文)	単著	平成○年○月	○○大学大学院	(○○判 全○○頁) . . . . .
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>※学位論文は、その旨記載してください。公刊され、単行本として市販されている場合は、著書となります。</b> </div>				
(その他) 1. ○○○○○○○○○ 学会発表	—	平成○年○月	○○○○○学会 第37回総会 発表論文集p. 235 (○○市)	(本人担当部分：調査・資料収集・データ分析・考察・発表) . . . . . 共同発表：福島太郎、○○○○、△△△△
<b>学会発表に関しては本欄に—を記載</b>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>時系列で</b> ↓                 </div>	<b>※開催都市名を記載してください。</b>	
2. 「○○○○○○○」 (依頼原稿記事)	単著	平成○年○月	○○大学大学院	(○○判 全○○頁) . . . . .
3. 「○○○○○○○」 学会抄録	共著	平成27年○月	○○○学会	(本人執筆 「○○○」 (pp. 17-25) . . . . . 共著者：○○○○、△△△△、 <u>福島太郎</u>
4. 「○○○○○」 (総説)	単著	平成27年○月	◇◇出版	(本人執筆 「△△△△」 (pp. 23-28) . . . . .
				<b>※本人の氏名にアンダーライン</b>